

保 護 者 様
(学年 組 氏名

学校で予防すべき感染症と出席停止について

病気が治り、他に感染するおそれなくなり登校する場合は、右の医師の「証明書」をいただいて学校に提出してください。

| 学校で予防すべき感染症の種類 | | 出席停止の期間 |
|----------------|---|--|
| 第1種 | <p>エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がSARS コロナウイルスに限る）、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルス A（H5N1）であるものに限る）</p> <p>*感染症法に規定する「新型インフルエンザ等感染症」「指定感染症」「新感染症」は第1種の感染症とみなす</p> | 病気が治って、学校医等の許可があるまで |
| 第2種 | <p>◎インフルエンザ</p> <p>百日咳</p> <p>麻疹（はしか）</p> <p>流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</p> <p>風しん（三日はしか）</p> <p>水痘（みずぼうそう）</p> <p>咽頭結膜熱</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症</p> <p>結核、髄膜炎菌性髄膜炎</p> | <p>発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで</p> <p>特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで</p> <p>解熱した後3日を経過するまで</p> <p>耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで</p> <p>発しんが消失するまで</p> <p>すべての発しんがかさぶたになるまで</p> <p>主に症状がとれてから2日を経過するまで</p> <p>発症した後5日を経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで</p> |
| 第3種 | <p>コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症</p> <p>大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症</p> | 病状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで |

- ◎上記の表は基準であって、医師の証明があればこの限りではありません。
◎群馬県では第3種「その他の感染症」については定めないとしています。
よって、手足口病や伝染性紅斑、溶連菌感染症等は出席停止扱いになります。
◎インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症については、「療養報告書」
を使用してください。

ご多用中恐れいますが、下記証明書は出席可能になりましたら、ご記入のうえ保護者にお渡しください。

証 明 書 (主治医→保護者→学校)

() 学校 (園)

学年 組 氏名

病 名 ()

上記の者は 月 日 より出席停止となっていましたが、
病気が治り、他に感染するおそれなくなったので 月 日
から出席してよいと考えます。

備考

令和 年 月 日

病 院 名

醫師名